

**AKAI**<sup>®</sup>  
PROFESSIONAL

---

**MPX16**

ユーザーガイド

## 安全にお使いいただくために

### この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

### 製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源ブラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください。)
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

### inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[ Web ] [inmusicbrands.jp](http://inmusicbrands.jp)

[ サポート ] [www.inmusicbrands.jp/support](http://www.inmusicbrands.jp/support)

# ユーザーガイド

## はじめに

### 同梱品

- ・ MPX16 本体
- ・ 電源アダプター
- ・ MPX16 File Loader (ダウンロード)
- ・ ユーザーガイド/保証書(本書)

### サポート

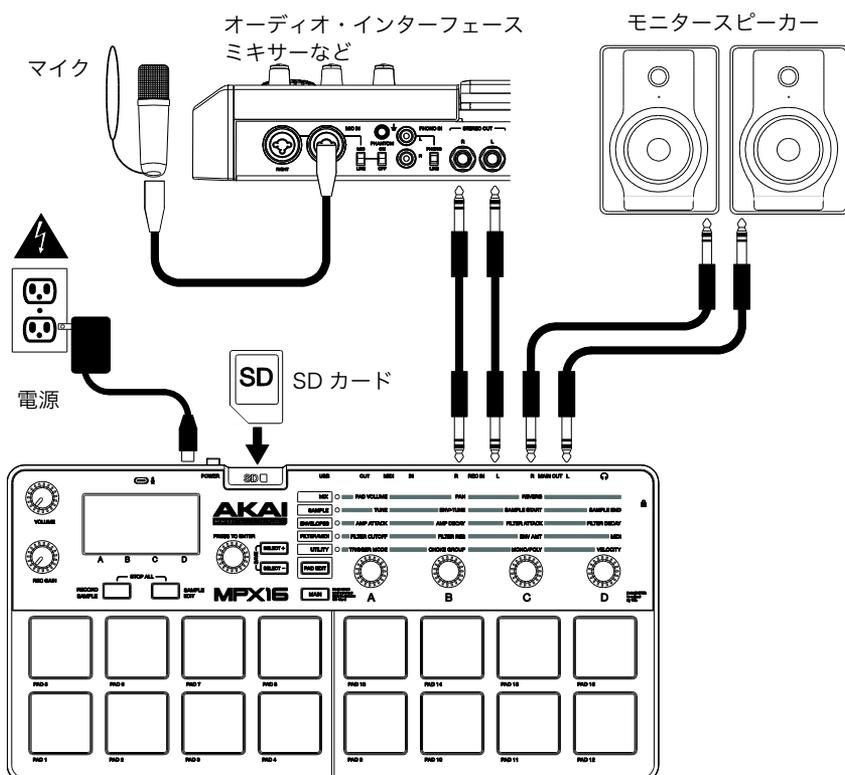
MPX16 の最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

<http://akai-pro.jp/mpx16/>

また、製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

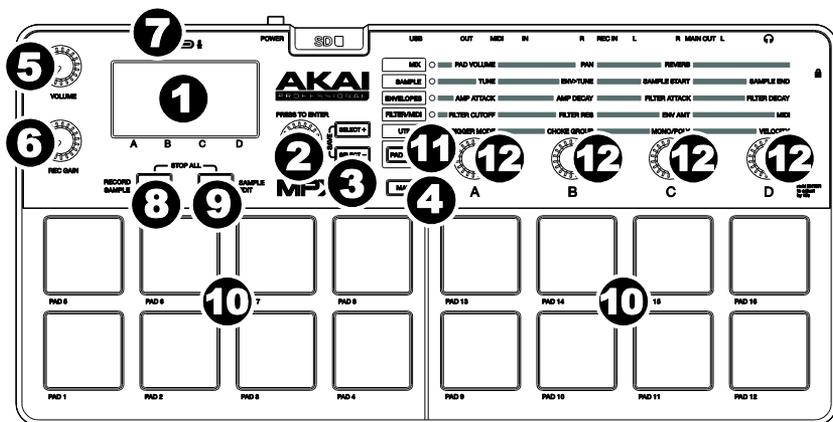
<http://akai-pro.jp/support/>

### クイックスタート/接続例



※同梱品に記載のないものはすべて別売りです

トップパネル



1. **ディスプレイ**：MPX16の現在のパラメーターやその他の情報を表示します。
2. **バリュー・ダイヤル**：このノブで、ディスプレイで選択されているパラメーターを変更します。ノブを押しながら回すことで、パラメーターを10ずつ飛ばして設定できます。
3. **SELECT +/- ボタン**：ディスプレイに表示されている任意のパラメーターに移動します。二つのボタンを同時に押すとセーブ・モード (Save Kit) に入ります。詳しくは、後述の「**操作 > キットの保存**」をご参照ください。
4. **MAIN ボタン**：このボタンを押すことで、メイン画面に戻ります。このボタンを押しながらコンピュータとUSBケーブルで接続すると、SDカードリーダー・モードになり、MPX16に挿入しているSDカードにコンピュータからアクセス可能になります。詳しくは、後述の「**操作 > SDカードリーダー・モード**」をご参照ください。
5. **VOLUME ノブ**：メイン出力とヘッドホン出力の音量を調整します。
6. **REC GAIN ノブ**：このノブで、REC IN 端子および内蔵マイクの入力レベルを調整します。
7. **内蔵マイク**：サンプリング用の内蔵マイクです。REC GAIN で入力レベルを調整します。REC IN 端子にケーブルを接続すると、内蔵マイクは自動的にオフになります。
8. **RECORD SAMPLE ボタン**：このボタンを押すことで、サンプリング・モードに入ります。詳しくは、後述の「**操作 > サンプリング**」をご参照ください。また、SAMPLE EDIT ボタンと同時に押すことで、現在再生している音声サンプルをすべて強制的に停止します。
9. **SAMPLE EDIT ボタン**：このボタンを押すことで、サンプル・エディット・モードに入ります。詳しくは、後述の「**操作 > サンプルの編集**」をご参照ください。
10. **パッド**：挿入されているSDカード (別売) 内の音声サンプルデータをトリガして再生します。パッドは、ベロシティ及びプレッシャー対応で、直感的な操作が可能です。詳しくは、後述の「**操作 > パッドの編集**」をご参照ください。
 

パッドのバックライトは、パッドの状態によって下記のように色が変化します。

  - **オフ (無色)**：パッドにサンプルがアサインされていません。
  - **オレンジ**：パッドにサンプルがアサインされています。
  - **グリーン**：パッドにアサインされたサンプルが現在再生されています。
  - **レッド**：現在編集されているパッドです。
11. **PAD EDIT ボタン**：このボタンを押すことで、パラメーター・ノブによるパッドの編集項目を切り替えます。詳しくは、後述の「**操作 > パッドの編集**」をご参照ください。
12. **パラメーター・ノブ**：これらのノブで、選択したパラメーターを設定します。詳しくは、後述の「**操作 > パッドの編集**」をご参照ください。

## リアパネル



1. **DC IN** : コンピュータと接続せずに MPX16 を動作させる際に、付属の AC アダプタをここに接続して電源供給を行います。
2. **POWER ボタン** : このボタンを押すことで、MPX16 の電源のオン・オフを切り替えます。
3. **USB 端子** : USB ケーブルでコンピュータと接続します。その際、MPX16 は USB バスパワーで動作し、コンピュータと MIDI 信号のやり取りを行います。
4. **SD カード・スロット** : 音声サンプルデータを保存した標準的な SD カードをここに挿入します。対応する音声フォーマットなどについては、後述の「**操作 > サンプルの編集**」をご参照ください。
5. **REC IN 端子 (L/R)** : 標準的な 1/4" TRS ケーブルを使用して、外部のオーディオ・ソースと接続し、サンプリングを行います。入力レベルは REC GAIN ノブで調整します。モノラル・ソースを入力する場合は、L 側または R 側の片方の端子のみにケーブルを接続します。またこれらの端子にケーブルを接続することで、内蔵マイクはオフになります。
6. **MIDI IN 端子** : 標準的な 5 ピンの MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI デバイス (MIDI コントローラなど) と接続します。
7. **MIDI OUT 端子** : 標準的な 5 ピンの MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI デバイス (シンセサイザやドラムマシンなど) と接続します。
8. **MAIN OUT 端子** : 標準的な 1/4" TS フォンケーブルを使って、外部のスピーカーやミキサーに接続します。L 側の端子だけ接続すると、モノラル出力になります。VOLUME ノブで音量を調整します。
9. **ヘッドホン端子** : ヘッドホンを接続する標準的なステレオ端子 (1/4") です。出力音量は VOLUME ノブで調整します。

## 操作

### はじめに

MPX16 は、サンプル、パッドおよびそれらの設定を、キットとして保存します。ここでは、以下の操作について説明いたします。

- ・ディスプレイの表示
- ・キットの選択
- ・サンプリング
- ・サンプルの編集
- ・パッドの編集
- ・キットの保存
- ・MPX16 を USB MIDI コントローラとして使用する
- ・SD カードリーダー・モード

### ディスプレイの表示

これはMAIN モードの画面です。

ディスプレイの中の項目はSELECT +/- ボタンで移動し、バリュウー・ダイヤルで値を変更します。

**KIT**：プリセットの番号を表示します。インターナルのキットには「i」が、ユーザキットには「e」の文字が数字の前に付加されます。ユーザキットはSD カードに保存されます。

**LOC (サンプル・ロケーション)**：サンプルのロケーションが表示されます。MPX16 のインターナルのライブラリか、またはSD カード（別売）に含まれるサンプルか、サンプルの保存場所を表します。インターナルは「INT」、SD カードは「CARD」と表示されます。

**サンプル・ネーム**：選択された音声サンプルの名前が表示されます。

**PAD EDIT**：現在選択しているパッドとパラメーターのMIX、SMPL (SAMPLE)、ENVS (ENVELOPES)、FILT (FILTER/MIDI)、UTIL (UTILITY) を表示します。パッドを押すことで編集するパッドを選択します。パラメータはPAD EDIT ボタンで選択します。

**パラメーター**：パラメーターノブで設定可能なパラメーターを表示します。

KIT:i06 LOC: INT
<b>003: 808 HH O</b>
<b>P01 EDIT: MIX</b>
VOL PAN REV CMP
100 C 100 100

### キットの選択

キットには、各パッドのサンプル・ロケーション、名前またはナンバ、およびそれらのパラメータが保存されています。

キットを選択するには：

1. SELECT +/- ボタンでKIT のフィールドまでカーソルを移動します。
2. バリュウー・ダイヤルで目的のキットの番号を選択します。インターナルのキットには「i」が、ユーザキットには「e」の文字が数字の前に付加されます。
3. 目的のキットが表示され、数秒待つと自動的にキットがロードされます。

## サンプリング

サンプリング・モードでは、**REC IN** 端子または**内蔵マイク**からの音声をサンプリングして挿入している SD カードに **WAV** ファイルとして保存します。

**重要**：SD カードが挿入されていないとサンプリング・モードには入りません。

サンプリング・モードに入るには、**RECORD SAMPLE** ボタンを押します。

これはサンプリング・モードの画面です。**SELECT +/-** ボタンでカーソルを移動し、**バリュウ・ダイヤル**で値を変更します。

- **Mon (モニター)**：REC IN 端子および内蔵マイクからの音声を、**MAIN OUT** 端子および**ヘッドホン**端子 (On) でモニタするかどうかを設定します。
- **Source**：モノラルでサンプリングするか、ステレオでサンプリングするかを設定します。モノラルの場合、接続されている入力端子によって **MONOL** または **MONO R** を選択します。内蔵マイクからのサンプリングは、ステレオのみとなります。
- **Thresh (Threshold)**：どのくらいの入力レベルでサンプリングをスタートするか設定します (**Off/-60dB~00dB**)。Off の場合、**バリュウ・ダイヤル**を押すと直ちにサンプリングが始まります。

```
Record Sample
Mon:Off
Source: MONO L
Thresh: -10 dB
Press Enter> ARM
■■■■■■■■ | □
```

上記設定後、サンプリングを開始するには：

1. **バリュウ・ダイヤル**を押します。

**Threshold** が設定されている場合、入力信号がそのレベルを超えるとサンプリングが始まります。または、もう一度**バリュウ・ダイヤル**を押すと直ちにサンプリングが始まります。

**Threshold** が **Off** の場合は、すぐにサンプリングが始まりません。

2. サンプリングを止めるには、**バリュウ・ダイヤル**をもう一度押します。サンプルを保存する場合は、**バリュウ・ダイヤル**で任意の名前に変更し、もう一度**バリュウ・ダイヤル**を押します。このサンプルを破棄して、もう一度やり直すには、**RECORD SAMPLE** ボタンを押します。
3. 名前をつけて**バリュウ・ダイヤル**を押した後、どのパッドにアサインするかを訊ねられます。任意のパッドを押して設定し、もう一度**バリュウ・ダイヤル**を押すと、サンプルは保存され、パッドにアサインされます。

```
Armed...
Mon:Off
Source: MONO L
Thresh: -10 dB
Enter> Start!
■■■■■■■■ | □
```

```
Recording...
Mon:Off
Source: MONO L
Thresh: -10 dB
Enter> Stop
■■■■■■■■ | □
```

```
Name Sample...
SAMPLE001
Press ENTER>Keep
Press REC >Redo
```

## サンプルの編集

サンプル・エディット・モードでは、SD カード内のサンプルの編集を行います。

**重要**：SD カードが挿入されていないとサンプル・エディット・モードには入りません。

サンプル・エディット・モードに入るには、**SAMPLE EDIT** ボタンを押します。バリュー・ダイヤルで Sample フィールドにあるサンプルを選択します。

違うパッド（サンプル）を選択するには、**SAMPLE EDIT** ボタンを押してサンプル・エディット・モードを一旦抜けて、選び直します。

これはサンプル・エディット・モードの画面です。**SELECT +/-** ボタンでカーソルを移動し、バリュー・ダイヤルで値を変更します。

Sample: 808 HH

### Normalize

St : 000,000,000  
End: 000,000,000  
Execute?>No

- **Sample Name**：SD カード内の選択されているサンプル名が表示されます。
- **Edit Process**：現在選択されているプロセスが表示されます。
  - **Normalize（ノーマライズ）**：サンプルのピークが **0dB** になるように、サンプル全体の音量を引き上げます。
  - **Reverse（リバース）**：サンプルを逆再生します。
  - **Copy to New（コピー）**：現在選択されているサンプルをコピーして、新しいファイルを作成します。名前の最後の番号が更新されます。
  - **Rename（リネーム）**：サンプルの名前を変更します。既に SD カードに存在するサンプルと同じ名前を設定しようとする、再度リネームするか、そのまま書き保存するかを尋ねられます。
  - **Delete（消去）**：SD カードから選択したサンプルを消去します。実行すると、再度消去するかどうかを尋ねられます。
  - **Fade In（フェードイン）**：スタートポイントからエンドポイントに向かって、**-∞dB** から最大レベルまで、ログカーブでフェードインしていきます。
  - **Fade Out（フェードアウト）**：スタートポイントからエンドポイントに向かって、最大レベルから**-∞dB** まで、ログカーブでフェードアウトしていきます。
  - **Extract to New（抽出）**：設定したスタートポイントとエンドポイント内の波形を抽出して、新しいファイルを作成します。名前の最後の番号が更新されます。
  - **Discard（破棄）**：設定したスタートポイントとエンドポイント内の波形を破棄します。スタートポイントより前の波形とエンドポイントより後の波形が繋がります。
  - **Stereo > Mono（モノラル化）**：ステレオのサンプルを、モノラル化します。「Source：」の項目で、**Left** にすれば左チャンネルのみを使ってモノラル化し、**Right** では右チャンネルのみを使用します。Sum は、左右のチャンネルを合算してモノラル化します。
- **ST（スタートポイント）**：サンプルの発音が開始されるポイントを設定します。
- **END（エンドポイント）**：サンプルの発音される最後のポイントを設定します。
- **Execute（実行）**：プロセスを実行する際に、**SELECT +/-** ボタンでカーソルを移動し、バリュー・ダイヤルで **Yes** に変更してから、バリュー・ダイヤルを押します。プロセスによっては、実行を再度確認するメッセージが表示されます。

## ファイルフォーマットについて

SD カードにオリジナルのサンプルをコピーして、MPX16 で再生する際、以下の点にご注意ください。

- サンプルファイルの対応フォーマットは「**16bit**、**モノラル/ステレオ**、**WAV** フォーマット」です。サンプリングレートは、**48kHz**、**44.1kHz**、**32kHz**、**22.05kHz**、**11.205kHz** に対応しています。
- サンプルは、フォルダなどに入れず、必ず**ルート（メイン）ディレクトリ**に保存してください。
- **32GB** までの SD/SDHC カードに対応しています。
- SD カードをフォーマットする時は **FAT32** ファイル・システムでフォーマットします。ファイル・ネームは次のルールで設定ください。
  - **"\*/\:<>?|**などの記号は使用できません。
  - スペースは使用できません。
  - ファイル名は**半角英数文字**で**8文字**（拡張子「.wav」は含まず）で設定してください。
  - ルート（メイン）ディレクトリに保存するサンプルファイルは、最大**512**個までにしてください。
- MPX16 に一度にロードできるサンプルファイルの総容量は**48MB** までです。また、個々のサンプルファイルの容量は、MPX16 にアサインされる時点で**1MB** 未満の数値は切り上げられます（実容量**2.1MB**のサンプルファイルのアサインした場合は、**3MB**のサンプルファイルとして扱われます）。

## パッドの編集

パッドのパラメーターを編集するには、**PAD EDIT** ボタンを目的のパラメータ・ファミリーが表示されるまで何度か押し、その後、パラメーター・ノブで値を変更します。

パラメーター種類	パラメーター	説明	レンジ/オプション
Mix	A : VOL(Volume)	パッドの最大出力音量	000 – 100
	B : PAN	パッドのサンプルのステレオ定位	Ctr (Center) L50 – R50
	C : REV (Reverb)	パッドのリバーブ適用量 (100 で Wet 音と Dry 音が同等になります)	000 – 100
Sample	A : TUN(Tuning)	パッドのピッチ	-12 > +12 (半音階)
	B : E > T (Envelope>Tuning)	フィルター・エンベロープの効果をパッドのピッチに適用します (100 で、エンベロープはサンプルのピッチに 12 半音加算されます)。	000 – 100
	C : ST. (Sample Start)	パッド上のサンプルのスタートポイントのオフセットです。高い値で、スタートポイントは遅くなります。オリジナルのサンプルファイルや、違うパッドにアサインされている同じサンプルには適用されません。	000 – 999
	D : END (Sample End)	パッド上のサンプルのエンドポイントのオフセットです。高い値で、エンドポイントは早くなります。オリジナルのサンプルファイルや、違うパッドにアサインされている同じサンプルには適用されません。	000 – 999
Envelopes	A : A.A (Amplitude Attack)	パッドのアンブ・エンベロープのアタックの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します (後述の <b>Utility</b> パラメーターをご参照ください)。	000 – 999
	B : A.D (Amplitude Decay)	パッドのアンブ・エンベロープのディケイの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します (後述の <b>Utility</b> パラメーターをご参照ください)。	Off、000 – 999
	C : F.A (Filter Attack)	パッドのアンブ・エンベロープのディケイの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します (後述の <b>Utility</b> パラメーターをご参照ください)。	000 – 100
	D : F.D (Filter Decay)	パッドのフィルタ・エンベロープのディケイの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します (後述の <b>Utility</b> パラメーターをご参照ください)。	Off、000 – 999

パラメーター種類	パラメーター	説明	レンジ/オプション
Filter/MIDI	<b>A</b> : CUT (Cutoff)	4-pole ローパスフィルタのカットオフの設定です。	000 - 100
	<b>B</b> : RES (Resonance)	4-pole ローパスフィルタのレゾナンスの設定です。	000 - 100
	<b>C</b> : E > F (Envelope>Filter)	フィルタ・エンベロープの効果をパッドのフィルター・カットオフに適用します (100 で、エンベロープ・レベルはカットオフ値に加算されます)。	000 - 100
	<b>D</b> : MID (MIDI Note)	パッドの MIDI ノート番号を設定します。	000 - 127

Utility	<b>A</b> : TRG (Trigger Mode)	<p>パッドを叩いて音声サンプルをトリガーした際の動作を設定します。フィルター・エンベロープおよびアンプ・エンベロープにも適用されます。</p> <p><b>ONE SHOT</b> : パッドを一度叩くと、音声サンプルは最後まで再生されます。</p> <p><b>LOOP</b> : パッドを一度叩くと音声サンプルの再生が始まり、次にパッドを叩くまで繰り返し再生されます。</p> <p><b>HOLD</b> : パッドを叩いてそのまま押さえたままにすると、押さえている間、音声サンプルは繰り返し再生されます。パッドから指を離すと再生は止まります。</p>	<p>1SH (One Shot)</p> <p>LP (Loop)</p> <p>HLd (Hold)</p>
	<b>B</b> : C.G (Choke Group)	パッドのミュート・グループを設定します。同じグループのパッドを叩くと、他の同じグループの音はすべてミュートされます。	01 - 16
	<b>C</b> : M/P (Mono/Poly)	<p>パッドを複数回叩いた際の、サンプルの同時発音の設定を行います。</p> <p><b>Mono</b> : サンプル再生中に同じパッドを叩くと、その前に再生していたサンプルは停止し、新しくサンプルが再生されません。</p> <p><b>Poly</b> : サンプル再生中に同じパッドを叩くと、その前に再生していたサンプルと重なって、新しいサンプルが再生されません。</p>	<p>Mon (Mono)</p> <p>Pol (Poly)</p>
	<b>D</b> : VEL (Velocity)	<p>パッドを叩く強さに反応するかどうかの設定を行います。</p> <p><b>On</b> : サンプルの再生音量は、パッドを叩く強さに比例します。</p> <p><b>Off</b> : 叩く強さにかかわらず、サンプルは最大音量で再生されます。</p>	On, Off

## キットの保存

選択したキットを編集した場合、以下の手順で保存してください。保存の操作を行わない場合は、行った編集は破棄されます。

現在のキットを保存するには：

1. **SELECT +/-** ボタンを同時に押します。ディスプレイには、現在のキットの保存を行うか確認するメッセージが表示されます。
2. **バリュー・ダイヤル**を使って、**Overwrite** もしくは **Copy** を選びます。

**Overwrite** を選びバリュー・ダイヤルを押すと、現在選ばれているキットに上書き保存されます。キャンセルするには、何か他のボタンを押します。

**Copy** を選んでバリュー・ダイヤルを押すと、選択しているキットをコピーして、新しいユーザキットを作成します。キャンセルするには、何か他のボタンを押します。

ユーザキットの番号は自動的に振られます（既に「e12」までユーザキットが存在する場合、新たにコピーしたユーザキットは自動的に「e13」になります）。

## Using MPX16 を USB-MIDI コントローラーとして使用する

MPX16 を MIDI コントローラーとして使用する場合は、まず USB ケーブルでコンピュータと接続し、次に本体の電源を入れます。MPX16 のパッドは USB 経由でコンピュータに MIDI ノートメッセージを送信します（同じ情報が **MIDI OUT** 端子からも同時に送信されます）。

## SD カードリーダー・モード

MPX16 を SD カードリーダーとして使用するには、まず USB ケーブルでコンピュータと接続し、次に **MAIN** ボタンを押しながら本体の電源を入れます。コンピュータは、MPX16 をカードリーダーとして認識し、MPX16 に挿入されている SD カードをマス・ストレージ・デバイスとして認識します（この際、MPX16 は通常の操作は行えなくなります）。

**重要：**SD カードに読ませるオーディオ・ファイルのフォーマットについては、「**操作 > サンプルの編集 > フォーマットについて**」をご参照ください。

## 付録

## 技術仕様

<b>Display</b>	Backlit, monochromatic LCD; 2.0" x 1.1" (5.1 cm x 2.8 cm)
<b>Pads</b>	16 pads, RGB-backlit, velocity-sensitive
<b>Knobs</b>	5 360° encoders 2 270° knobs
<b>Inputs / Outputs</b>	1 USB port 2 1/4" (6.35mm) TRS recording inputs (left and right stereo pair) 2 1/4" (6.35mm) TRS main outputs (left and right stereo pair) 1 1/8" (3.5mm) TRS stereo headphone output 1 5-pin MIDI in 1 5-pin MIDI out
<b>Polyphony</b>	64 voices total Mono or stereo sample playback Mono and poly trigger modes
<b>Envelopes</b>	Attack-Decay (AD) amp and filter envelopes with Envelope>Tuning routing for filter envelope
<b>Filter</b>	4-pole low-pass filter with resonance per pad
<b>Effects</b>	Reverb
<b>Sample Tuning Range</b>	±12 semitones via Tuning parameter +12 additional semitones via Envelope>Tuning parameter
<b>Sample File Format</b>	Uses and records mono or stereo WAV files
<b>Power</b>	via power adapter (included): 5.8V DC, 860mA, center-positive via computer USB bus or USB charger (sold separately)
<b>Dimensions (W x D x H)</b>	11.6" x 5.8" x 1.2" 29.5 cm x 14.7 cm x 3.0 cm
<b>Weight</b>	1.5 lbs. 0.68 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

## 商標およびライセンス

AKAI professional は、InMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

SD および SDHC は、米国またはその他の国で SD-3C, LLC の商標または登録商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

